

第316号 2012年10月16日
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会・研究発表会・公開講座

「平成24年度弘前大学医学部保健学科・
大学院保健学研究科FD講演会」開催のお知らせ

弘前大学大学院保健学研究科FD委員会では、FD講演会を下記により開催いたします。

近年、携帯情報端末やモバイル・ラーニングによる医療者教育が注目されています。今回の講演会では、施設や学校単位でスピーディに教育教材を作るための仕組みと、その効果を紹介します。また、医療現場の学習に最適なモバイル・ラーニングを成功させるポイントについてお話ししていただきます。教職員、医療従事者、学部学生、大学院生等多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2012年10月25日（木） 18:00～19:30
2. 場 所：弘前大学大学院保健学研究科 6階 第24講義室
3. 演 題：教育コンテンツの内製化ノウハウと、モバイル・ラーニングへの取り組み
4. 講 師：（株）HRシンフォニー 常務取締役兼九州支社長 隈本 寿一 氏

問い合わせ先：弘前大学大学院保健学研究科 七島 直樹
電 話：0172-39-5968
E-mail：nnaoki@cc.hirosaki-u.ac.jp

大学院保健学研究科 緊急被ばく医療検討委員会
『緊急被ばく医療人材育成プロジェクトの紹介』のポスター展開催のお知らせ

弘前大学大学院保健学研究科では、第12回弘前大学総合文化祭「知の創造」におきまして、保健学研究科が取り組んでいます『緊急被ばく医療人材育成プロジェクト』の活動内容について、地域住民の皆様にお知らせし、地域社会での理解と普及に努めたいと考えております。

本プロジェクトの概要と最新の活動を、29のポスター展示によって、写真や図表を利用して平易に解説されています。この機会に是非、会場までお越しください。

1. 日 時：2012年10月26日（金）～2012年10月28日（日）
（初日は13:00に開始、最終日は15:00に終了）
2. 場 所：弘前大学総合教育棟1階「ロビーホール」
（弘前市文京町1）
3. 対 象：地域住民、医療関係者、一般、大学生、中・高校生
4. ポスター演題（発表者）：
 1. ポスター展の開催にあたって（企画部門・市民公開講座）
 2. 弘前大学における緊急被ばく医療専門職人材育成の取り組み
－5年間の活動総括と今後の展望－（對馬 均 研究科長）

3. 私たちの身の回りにある放射線って？
－自然界にある放射線のはなし－（細田 正洋） 「市民公開講座」で講演
4. 放射線安全管理体制の現状と必要とされる人材に関する調査（齋藤 陽子）
5. 緊急被ばく医療のための教員研修の企画とその実績：企画部門総括（木立 るり子）
6. 放射線の基礎知識（成田 大一）
7. 緊急被ばく医療人材育成プロジェクト教員研修報告会 平成23年度活動報告（小山内 暢）
8. 放射線看護教育の高度専門化に向けた活動（野戸 結花）
9. 平成24年度青森県総合防災訓練：国民保護訓練 参加報告（齋藤 陽子）
10. 弘前大学における緊急被ばく医療教育の概要（中村 敏也）
11. 緊急被ばく医療の学部教育（冨澤 登志子）
12. 緊急被ばく医療の大学院教育（一戸 とも子）
13. 緊急被ばく医療の現職者教育（井瀧 千恵子）
14. 放射線治療を受ける患者の日常生活上の問題点とQOLについて（西沢 義子）
15. 原子力施設近隣の訪問サービス事業所における災害時対応に関する研究
－東日本大震災における訪問看護師の支援活動から－（大津 美香）
16. 緊急被ばく医療に向かう態度を測る ～どんな気持ちでそこに行くの？（野戸 結花）
17. 原子力災害に関連した隣接縣市町村保健活動（北宮 千秋）
18. 皮膚および筋の高線量放射線障害に対するリハビリテーションの効果について
－後肢の局所放射線障害病態モデルの考案－（成田 大一）
19. 医療系大学生の放射線リスク認知に関する3年間の変化（井瀧 千恵子）
20. 学部教育の評価と効果（若山 佐一）
21. 放射線被ばく医療における臍帯血移植の役割と今後の課題（伊藤 功一）
22. 致死線量照射マウスへの国内承認医薬品の組合せによる防護効果（石川 純也）
23. 被ばくマウスの消化管、神経・感覚器、骨髄・リンパ節についての形態学的研究
（千葉 正司）
24. 放射線で骨の成分が変わる！？（田中 孔明）
25. 反復摂動原理により推定された高エネルギーX線スペクトルに関する研究（寺島 真悟）
26. 緊急時における環境放射線計測手法の検討（細田 正洋）
27. 被ばく医療を伴う大規模複合災害向け救急医療支援システムの開発（野坂 大喜）

28. 放射線照射で生ずるスクロースラジカルを用いた低線量評価法の研究開発（中川 公一）
29. 放射性物質による創傷汚染に対する効果的な除染方法の検討（高間木 静香）

問い合わせ先：弘前大学大学院保健学研究科 千葉 正司

電 話：0172-39-5954

E-mail：sh-chiba@cc.hirosaki-u.ac.jp

「東南アジア青年の船交流事業」開催のお知らせ

内閣府主催「第39回東南アジア青年の船」事業の参加青年約30名が、25日～28日までの期間で青森県を訪問します。弘前大学において、10月26日に「地域・組織における青年の貢献」というテーマで意見交換ワークショップ、学生との交流の時間を予定しています。当日参加、および観覧も歓迎いたします。

1. 日 時：2012年10月26日（金）13：15～16：00
2. 場 所：弘前大学学生会館3階 大集会室
3. スケジュール
13：15 開会 オリエンテーション、大学説明
13：30 佐藤学長挨拶
13：40～14：00 アイスブレイキング（自己紹介等）
14：00～15：15 ワークショップ（ディスカッション）
テーマ：地域・組織における青年の貢献～変化をもたらすために必要なこと
－How the youth can contribute to their communities? What skills/abilities are necessary to make a difference?－
15：15～16：00 学園祭見学（各グループ毎に分かれ、見学）

問い合わせ先：弘前大学国際交流センター

電 話：0172-39-3109

E-mail：jm3109@cc.hirosaki-u.ac.jp

「平成24年度知的財産セミナー」開催のお知らせ

このたび、知的財産本部では、知的財産セミナー「研究成果の中から特許になる発明を見つけよう～発明を発掘する秘訣他～」(TV会議システム利用：発信元一帯広畜産大学)を、下記のとおり受信開催することとなりましたのでご案内申し上げます。

産学連携活動・知的財産に関する書籍の監修も行っている山口大学学長特命補佐、知的財産センター長 佐田 洋一郎氏を講師に、知的財産に関する基礎的なポイントについて講演をしていただきます。

多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2012年10月26日（金） 16：00～17：30
2. 場 所：弘前大学農学生命科学部3階 SCS室
3. 内 容：1. 研究成果の社会還元と知的財産
2. もしあなたの大切なアイデアが盗まれたら
3. 「知的財産で守る！」とはどんな意味？
4. 開発製品から生まれる知的財産の数々

5. 特許取得の基本的要件
6. 審査官の判断手法から学ぶ特許取得のノウハウ
7. 特許取得のための発明のとらえ方
8. 学術研究を特許権化する三段ステップ法
9. 研究者が誤解しやすい発明者認定問題

4. 講 師：山口大学学長特命補佐、知的財産センター長 佐田 洋一郎 氏

5. 対 象：本学教職員、学部学生、大学院生、研究員

6. 参加料：無料

※参加を希望される方は、氏名、所属・役職、連絡先を記載し、10月24日（水）12時までに、下記問い合わせ先までお申し込みください。

問い合わせ先：弘前大学知的財産本部

電 話：0172-39-3178

F A X：0172-36-2105

E-mail：chizai@cc.hirosaki-u.ac.jp

農学生命科学部公開講座「生き物たちの生き残るくふう」開催のお知らせ

生き物は様々な方法で次世代をつくります。私達、ヒトの場合と比較しながら学んでみましょう。また、りんごも毎日、病気や虫や鳥たちからその身を守っています。小さなりんごは渋く、大きくなると甘く美味しくなる理由を考えます。

1. 日 時：2012年10月28日（日）
13：30～15：30

2. 場 所：弘前大学農学生命科学部3階 302講義室

3. 演 題：「ちょっと変わった子孫繁栄のための作戦」
農学生命科学部 准教授 小林 一也

「小さなりんごが渋いわけ」
農学生命科学部 准教授 城田 安幸

4. 対象者：一般市民（事前申込不要）

5. 連絡先：農学生命科学部地域連携推進室総務グループ
（研究協力担当）

6. 受講料：無 料

7. 受 付：当 日（302講義室前にて行います。）



※「あおもり県民カレッジ」の単位認定講座です。

問い合わせ先：弘前大学農学生命科学部地域連携推進室総務グループ（研究協力担当）鈴木

電 話：0172-39-3758

F A X：0172-39-3757

E-mail：renkei@cc.hirosaki-u.ac.jp

「電子情報通信学会東北支部学術講演会」
「次世代型IT基盤技術開発センター講演会」開催のお知らせ

1. 日 時：2012年11月1日（木） 10：30～11：30
2. 場 所：弘前大学工学部1号館 10番講義室
3. 講 師：長岡技術科学大学 工学部 物質・材料系 梅田 実 教授
4. 演 題：モバイル機器用燃料電池の現状と将来動向
5. 概 要：
モバイル機器用エネルギー源には二次電池がもっぱら使用されているが、現状では一日連続使用を満足するレベルではない。燃料電池は二次電池よりも小型軽量を達成する技術として注目されているが、決定的な超小型化技術は完成していない。本講演では当研究室が取り組む反応選択性電極とそれに基づく混合反応物燃料電池について紹介し、モバイル機器への適用性について述べる。
6. 対 象：一般参加自由の講演会です。事前申込は必要ありません。
教職員、学生、大学院生等、どなたでも興味のある方の御参加をお待ちしております。
7. 主 催：電子情報通信学会東北支部
8. 共 催：弘前大学次世代型IT基盤技術開発センター
弘前大学工学部電子情報工学科

問い合わせ先：弘前大学大学院理工学研究科 岡本 浩
電 話：0172-39-3636
E-mail：okamoto@eit.hirosaki-u.ac.jp

看護職者の教育力開発支援センター・現職者支援部門主催のセミナー
「患者支援のためのインタープロフェッショナルワーク」開催のお知らせ

弘前大学大学院保健学研究科の特定プロジェクト教育研究センター「看護職者の教育力開発支援センター・現職者支援部門」では、定期的に患者指導スキルアップセミナーを開催してきました。

今回は、これまでの参加者の声を参考に、テーマ「患者支援のためのインタープロフェッショナルワーク」と題して、他職種との連携を視野に入れた医療ソーシャルワーカーの退院調整等の実践報告を行っていただき、社会資源を活用した効果的な退院調整、院内外における調整・指導システムの構築に向けた提言の機会にさせていただければと考えております。

1. 日 時：2012年11月7日（水）
17：40～19：30
2. 場 所：弘前大学大学院保健学研究科 2階 大会議室
3. 講 師：弘前大学医学部附属病院 地域連携室
医療ソーシャルワーカー 佐藤 由子氏 駒井 朋子氏
4. 参加料：無料

セミナー
患者支援のためのインタープロフェッショナルワーク
医療ソーシャルワーカーの活動の紹介

よりよい患者支援のためには効果的な患者支援のためには、看護職者のみの取り組みでは限界があり、学内のスタッフや外部のチーム連携が必須です。
当セミナーでは毎年に行っている、患者のためのチーム医療をめざして、各職種の立場から患者（利用者）支援に関わる実践報告を行っていただき、社会資源を活用した効果的な患者（利用者）支援、院内外における調整・指導システム構築に向けた学びの機会とすることを目指しています。

開催日時
日時：平成24年11月7日（水）17時40分～19時30分
場所：弘前大学大学院保健学研究科 2階 大会議室
講師：弘前大学医学部附属病院 地域連携推進室
医療ソーシャルワーカー 佐藤 由子 氏
医療ソーシャルワーカー 駒井 朋子 氏
内容：社会資源の活用方法と他職種との連携を視野に入れた退院調整の実践

お問い合わせ・お申し込み

お問い合わせ
看護職者の教育力開発支援センター・現職者支援部門
弘前大学大学院保健学研究科 工学部1号館
TEL:0172-39-3636 E-mail: syohko@eit.hirosaki-u.ac.jp

セミナーお申し込み 11月1日（木）までにはお申し込みください。
看護職者の教育力開発支援センター・現職者支援部門
弘前大学大学院保健学研究科 工学部1号館
TEL:0172-39-3636 E-mail: aito@eit.hirosaki-u.ac.jp

主催：看護職者の教育力開発支援センター・現職者支援部門
共催：看護職者の教育力開発支援センター・研究開発部門
・看護職者の教育力開発支援センター

5. 申込先：看護職者の教育力開発支援センター・現職者支援部門 會津 桂子
 FAX：0172-39-5940
 E-mail：aizu@cc.hirosaki-u.ac.jp
 ※11月1日までFAXでお願い致します。

問い合わせ先：看護職者の教育力開発支援センター・現職者支援部門 工藤 せい子
 TEL&FAX：0172-39-5929
 E-mail：seikoku@cc.hirosaki-u.ac.jp

「緊急被ばく医療検討委員会 平成24年度 第1回講演会」開催のお知らせ

平成23年3月11日の東日本大震災に続く福島第一原子力発電所の事故により、緊急被ばく医療の重要性が国内外に認識されるようになりました。特に、世界の被ばく医療の中でも近年活発な活動を展開しているアジア地区の状況について知る機会を得ることは、人材育成を行う上で貴重な機会となります。

そこで、今回、「アジア地区における被ばく医療と人材育成の現状」と題しまして、放射線医学総合研究所理事の明石氏にご講演いただきます。

多数のご参加をお待ちしております。

- 日時：2012年11月9日（金）
17：40～19：10（質疑応答を含む）
- 場所：弘前大学大学院保健学研究科
総合研究棟 第24講義室（6階）
- テーマ：「アジア地区における被ばく医療と人材育成の現状」
- 講師：放射線医学総合研究所 理事 明石 真言 氏
- 主催：保健学研究科緊急被ばく医療検討委員会

※事前のお申し込みは不要です。どなたでもご参加できます。

問い合わせ先：弘前大学保健学研究科総務グループ 工藤
 電話：0172-39-5906
 E-mail：kudo_s@cc.hirosaki-u.ac.jp

「分析化学と化学分析の青森フォーラム2012」開催のお知らせ

県内の会員及び分析化学・化学分析に従事する研究者・技術者の交流を深め、情報交換を行うことを目的としています。これまで、日本分析化学会の行事に参加する機会が少なかった会員も是非ご参加ください。

- 日時：2012年11月13日（火） 15：00～
- 場所：弘前大学理工学部1号館 大会議室
- 講演：
判別分析とクラスター分析の活用について
弘前大学大学院保健学研究科 對馬 栄輝

平成24年度 第1回
緊急被ばく医療検討委員会 講演会

講師
放射線医学総合研究所
理事 明石 真言 氏

テーマ
「アジア地区における
被ばく医療と人材育成の現状」

東日本大震災に続く福島第一原子力発電所の事故により、緊急被ばく医療の重要性が国内外に認識されるようになりました。特に、世界の被ばく医療の中でも近年活発な活動を展開しているアジア地区の状況について知る機会を得ることは、人材育成を行う上で貴重な機会となります。

日時 平成24年11月9日（金）
17:40～19:10

場所 弘前大学大学院保健学研究科
総合研究棟 第24講義室（6階）

【主催】弘前大学大学院保健学研究科 緊急被ばく医療検討委員会
【お問い合わせ】弘前大学保健学研究科 総務グループ 工藤 栄子 電話:0172-39-5906

無料
事前申込み
の
必要は
ありません

分析化学と化学分析の
青森フォーラム2012

主催 (社)日本分析化学会東北支部

県内の分析化学・化学分析に従事する研究者・技術者の交流を深め、情報交換を行うことを目的としています。ご関心をお持ちの方は是非ご参加下さい。

日時 2012年11月13日(火)15時から
会場 弘前大学大学院理工学研究科大会議室

講演
1. 判別分析とクラスター分析の活用について(弘前大学大学院保健学研究科) 對馬 栄輝
2. ICP-AESを用いた多元素分析と試料前処理方法(他職) 青森県産業技術センター(弘前地域研究所) 横澤 幸仁

参加費 無料
懇親会 17時45分より市内で行いますので参加ご希望の方は御連絡下さい。

問合せ 弘前大学大学院理工学研究科 穂積いとし(電話及/FAX:0172-39-3573, E-mail:nikt@cc.hirosaki-u.ac.jp)

ICP-AESを用いた多元素分析と試料前処理方法
(地独)青森県産業技術センター弘前地域研究所 横澤 幸仁

4. 主催：(社)日本分析化学会東北支部
5. 参加費：無料
6. 懇親会：17:45より市内で行いますので、参加ご希望の方は下記問い合わせ先に御連絡ください。

問い合わせ先： 弘前大学大学院理工学研究科 糠塚 いそし
電話・FAX：0172-39-3573
E-mail：nkt@cc.hirosaki-u.ac.jp

「学術講演会」開催のお知らせ(再掲)

1. 日時：2012年10月17日(水) 17:40～18:45
2. 場所：弘前大学大学院保健学科C棟2F 大学院セミナー室1
3. 演題：「アドバンスドESR法によるアラニン線量計の研究」
4. 講師：Boris Rakvin 先生
Ruder Boskovic Institute, Zagreb, Croatia

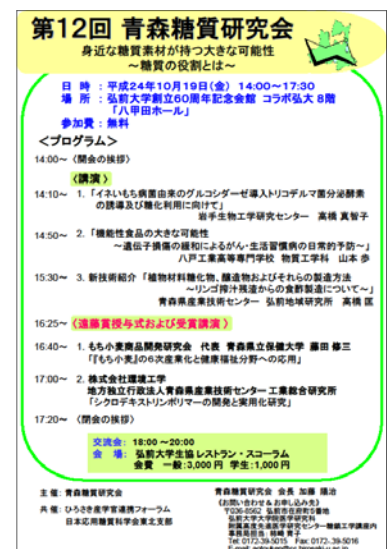


5. 要旨：
最も簡単なアミノ酸であるアラニンは、放射線照射で安定ラジカルになることが知られ、アラニン線量計として用いられている。このアラニンラジカルについて、最新のESR(電子スピン共鳴)法による研究成果を述べる予定です。

問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科 中川 公一
電話：0172-39-5921

第12回青森糖質研究会開催のお知らせ(再掲)

1. 日時：2012年10月19日(金) 14:00～17:30
2. 場所：弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大 8F 八甲田ホール
3. テーマ：『身近な糖質素材が持つ大きな可能性～糖質の役割とは～』
4. プログラム：
14:00～14:10 〈開会の挨拶〉 青森糖質研究会 会長 加藤 陽治
14:10～16:10 〈講演〉
○「イネいもち病菌由来のグルコシダーゼ導入トリコデルマ菌分泌酵素の誘導及び糖化利用に向けて」
高橋 真智子 (岩手生物工学研究センター)



- 「機能性食品の大きな可能性
～遺伝子損傷の緩和によるがん・生活習慣病の日常的予防～」
山本 歩（八戸工業高等専門学校 物質工学科）

- 新技術紹介「植物材料糖化物、醸造物およびそれらの製造方法
～リンゴ搾汁残渣からの食酢製造について～」
高橋 匡（青森県産業技術センター 弘前地域研究所）

16：25～17：20 〈遠藤賞授与式および受賞講演〉

- 「『もち小麦』の6次産業化と健康福祉分野への応用」
もち小麦商品開発研究会
（代表 青森県立保健大学 藤田 修三）

- 「シクロデキストリンポリマーの開発と実用化研究」
（株）環境工学
（地独）青森県産業技術センター工業総合研究所

17：20～17：30 〈閉会の挨拶〉

5. 主 催：青森糖質研究会

6. 共 催：ひろさき産学官連携フォーラム、日本応用糖質科学会東北支部

7. 参加費：無料

8. 事前申込：下記問い合わせ先へお申し込みください。

9. URL：<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~biochel/aotouken/aotouken.htm>

※研究会終了後（18：00～20：00）、弘前大学生協レストラン・スクーラムにて交流会を予定しております。

（会費 一般：3,000円、学生：1,000円）

※一般市民、弘前大学学生・大学院生・教職員、多数の参加をお待ちしております。

問い合わせ先：青森糖質研究会事務局

弘前大学大学院医学研究科 附属高度先進医学研究センター

糖鎖工学講座内 担当：柿崎 育子

電 話：0172-39-5015

E-mail：aotouken@cc.hirosaki-u.ac.jp

白神研究会2012年度 秋季観察会
「紅葉の十二湖大崩れ探訪」のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2012年10月20日（土） 10：30～15：00（雨天決行）
2. 集 合：「アオーネ白神（旧サンタランド）」駐車場
（車のない方はお申し出下さい。8：00弘前大学正門集合）
3. 解 散：15：00頃 アオーネ白神駐車場
4. 定 員：20名（小学校高学年以上。小中学生の場合は保護者の同伴をお願いします）
5. 参加費：1,000円（保険・テキスト代・雑費）
6. 申 込：弘前大学白神自然観察園
山岸さん：電話・Fax 0172-39-3706あるいは
白神マタギ舎 牧田さん：電話：0172-88-1881まで

7. 締 切：10月17日（水）ですが、定員になり次第締め切ります。

※ 履き物はトレッキングシューズ、ハイキングシューズ。服装はハイキング用のものでいいですが、雨具は必携です。手袋、帽子、虫除け、かゆみ止めをご用意ください。お弁当、飲み物をお持ちください。地図は配布しますが、ご自身で用意される方は、1:25000地形図「十二湖」図幅です。

問い合わせ先：白神マタギ舎 牧田 肇
電 話：0172-88-1881

「第14回家庭でできる看護ケア教室」開催のお知らせ（再掲）

一般市民の方々を対象に看護の専門領域で活躍するナースが、講師として実際に即した方法をお伝え致します。

1. 日 時：

第1回目 2012年10月24日（水）13:00～15:30
「さあ、始めよう！手洗いでウイルスストップ」
講 師：一病棟3階 感染管理認定看護師 尾崎 浩美

「がんばりすぎない排泄ケア」
～介護する人もされる人も快適なおむつのある暮らし～
講 師：一病棟4階 皮膚・排泄ケア認定看護師 鎌田 恵里子

第2回目 2012年11月8日（木）13:00～15:30
「お口の健康、全身元気！」
講 師：歯科口腔外科外来 副看護師長 石田 芳子

「体操しながら転ばない明日をめざそう！」
講 師：二病棟7階 副看護師長 高橋 安紀子
*動きやすい服装でご参加ください。

2. 場 所：弘前大学医学部コミュニケーションセンター
（駐車場はございません）
住所：弘前市本町40-1

3. テーマ：暮らしの中の健康チェック！
～あなたは大丈夫ですか？～

4. 参加費：無料

5. 募集人数：市民の方30名（先着順）

6. 主催：弘前大学医学部附属病院 看護部

※この事業は、社団法人 青森医学振興会の助成金で運営されております。

申込・問い合わせ先：弘前大学医学部附属病院 地域連携室 富士 明美
電 話：0172-39-5337
（月～金 9:00～17:00 *祭日は除きます）
FAX：0172-39-5338
（FAXには、受講参加日、住所・氏名・電話番号をご明記ください。）



第37回弘前大学経済学会大会」開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2012年10月26日（金） 14：00～17：15

2. 場 所：弘前大学人文学部4F 視聴覚教室

3. プログラム：

○開会挨拶 14：00～

細矢 浩志会長（弘前大学人文学部教授）

○講演 14：10～

横山 英信 氏（岩手大学人文社会科学部教授）

農業者戸別所得補償制度をめぐる諸問題

○研究発表

15：40～

大橋 忠宏氏（弘前大学人文学部准教授）

日本での航空規制緩和とその評価

16：30～

大倉 邦夫氏（弘前大学人文学部講師）

「日本における社会的協働の展開---繊維産業でのリサイクル事業の事例を通して---

※参加費、事前申し込み不要。どなたでもご参加できます。

問い合わせ先：弘前大学人文学部 鈴木 和雄

電 話：0172-39-3271

弘前大学総合文化祭「知の創造」

保健学研究科「市民公開講座」開催のお知らせ（再掲）

『環境と放射線。そして食の安全』をテーマに市民公開講座を開催いたします。

事前の申し込みは不要ですので、参加を希望される方は当日直接会場にお越しください。多数のご参加を待ちしております。

1. 日 時：2012年10月26日（金） 17：30～19：30

2. 会 場：弘前市立観光館 1階 多目的ホール

3. テーマ：『環境と放射線。そして食の安全』

4. 内 容：講演1 「食品の放射線物質の新たな基準について」

松坂 千亜紀 先生（青森県健康福祉部保健衛生課）

坂田 裕治 先生（青森県農林水産部）

講演2 「私たちの身の回りにある放射線って？ ー自然界にある放射線のはなしー」

細田 正洋 先生（弘前大学大学院保健学研究科助教）

5. 入場料：無料

6. 対 象：一般市民、教職員、学生

7. 共 催：緊急被ばく医療人材育成プロジェクト

生体応答科学研究センター

問い合わせ先：弘前大学保健学研究科総務グループ

電話：0172-39-5905

「判決を決めるものー裁判員裁判の量刑と評議を考える」開催のお知らせ（再掲）

裁判員裁判の実施から3年が経過し、2012年10月末までに青森県内で40件に判決が出ます。市民の務める裁判員が、裁判官とともに、担当した事件の有罪・無罪と有罪の場合の刑の重さをどのように判断するのか、講演で学び、守秘義務の範囲内で意見交換を行います。誰しも選ばれる可能性のある裁判員。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日時：2012年10月27日（土）15：00～17：00

2. 場所：弘前大学総合教育棟201号教室（文京キャンパス内）

3. 内容：

○第一部 講演

杉田 宗久（同志社大学大学院司法研究科（法科大学院）教授、元裁判官）
「裁判員裁判における量刑」

藤田 政博（関西大学社会学部准教授）
「裁判員裁判における評議」

○第二部 パネルディスカッション

杉田 宗久、藤田 政博、青森県内の裁判員経験者（澁谷 友光ほか）など

4. 主催：弘前大学人文学部・教育学部・学生サークルteens & law

*入場無料、事前申込不要、学内外問わず参加歓迎

*裁判員経験者パネリストを追加募集中です。非公開の経験者交流会も同日開催予定です。ご協力いただける経験者の方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

*同日13：00より、同会場にて、学生サークルteens & lawによる脚本、演技（裁判員役は当日会場で募集）の模擬裁判員裁判「決めるのはあなた」（身代金目的誘拐事件）が開催されます。お時間がございましたらあわせお運びください。

問い合わせ先：弘前大学人文学部 飯 考行（いい・たかゆき）

電話：0172-39-3958

E-mail：iit@cc.hirosaki-u.ac.jp

「地域とともに育む大学生の就業力

—大学生のチャレンジ2012—中間報告会」開催のお知らせ（再掲）

就業力育成支援事業では、地域企業と連携して課題解決型学習を実施し、学生の企画提案力を育成するとともに、地域における雇用機会の拡大を目指し活動を行ってきました。

地域企業との対話を通して培う企画提案力というテーマのもと、地域企業の抱える経営課題を素材に学生独自のアイデアで企画・提案を行っています。

今回の報告会では、学生と連携企業とのこれまでの活動を中間報告として発表し、皆さんからの意見をいただきたいと思っております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日時：2012年10月28日（日）13：00～16：30

2. 会 場：弘前大学創立50周年記念会館 2F 岩木ホール

3. 議 題：学生の活動の中間報告

ー連携企業と取組内容ー

①ブナコ漆器製造 株式会社

取組内容：ブナコインテリア照明の販路開拓

②ベストウェスタンホテルニューシティ弘前

取組内容：インバウンド観光普及に向けた提案

③企業組合 である・そーれグループ

取組内容：美容ドリンク『ゆめひみこ』販路開拓

④株式会社 小林紙工グループ

取組内容：津軽塗パッケージの提案

⑤弘前観光コンベンション協会グループ

取組内容：シニアサマーカレッジオプションツアー計画・実施

⑥中南地域県民局グループ

取組内容：スギ木骨新商品の開発

⑦青森日産自動車株式会社グループ

取組内容：リーフを利用した観光マップ作成

⑧津軽地吹雪会・あおもり観光デザイン会議グループ

取組内容：新しい観光商品の開発

⑨弘前マルシェコンソーシアムグループ

取組内容：魅力的な販売・宣伝方法の提案

⑩道の駅ひろさきサンフェスタいしかわグループ

取組内容：集客力アップに向けた提案

4. 対 象：本学学生、教職員及び企業・行政関係者

5. 参加費：無料

※参加人数確認のため、10月17日（水）までに申し込み願います。

6. 主 催：国立大学法人弘前大学

問い合わせ先：弘前大学人文学部 就業力育成事業事務局（総合教育棟2階）

電 話：0172-39-3978

E-mail：gp@cc.hirosaki-u.ac.jp



「学術講演会」開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2012年10月29日（月） 15:00～17:00

2. 場 所：弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大 8F 八甲田ホール

3. 講 師：東京大学大学院工学研究科 鈴木 勉教授

4. 演 題：RNA修飾の多彩な機能と生命現象
5. 主 催：機関研究「RNAから見た生命システムの新視点」

問い合わせ先：弘前大学農学生命科学部 姫野 俵太
電 話：0172-32-7278
E-mail：himeno@cc.hirosaki-u.ac.jp

「平成24年度弘前大学FDシンポジウム」開催のお知らせ（再掲）

1. 日 時：2012年11月3日（土）13：00～17：40
2. 場 所：弘前大学創立50周年記念会館
3. 主 催：弘前大学教育委員会

4. 開催趣旨：

大学における授業改善には、授業に対する「省察」を行うことが必要であり、そのためには、教員が自らの授業を記録・整理しておかなければなりません。このような授業実践記録とそれに教員の省察を加えた資料はティーチング・ポートフォリオと呼ばれています。

本学では、平成20年度から文部科学省からの特別経費の配分を受け、「ティーチング・ポートフォリオを活用したFD活動の展開」を実施し、弘前大学版ティーチング・ポートフォリオと位置付ける「教育者総覧」の全教員による作成を進め、学内への定着を図るなど、様々な活動を行ってきました。

本シンポジウムでは、こうしたこれまでの活動・成果を踏まえ、これを総括するとともに、大学における教育改善を進めていくため、今後のティーチング・ポートフォリオの更なる展開、発展について考え、今後の課題を明確にしていきます。

5. テーマ：「ティーチング・ポートフォリオを活用したFD活動の展開」

6. 日 程：

12：30～13：00 受付
13：00～13：10 開会の挨拶 弘前大学長 佐藤 敬

【第一部】司会：鬼島 宏

13：10～13：50 基調講演 文部科学省高等教育局
13：50～14：20 講演 「5年間の総括と今後への展開」
弘前大学理事（教育担当）中根 明夫
21世紀教育センター高等教育研究開発室長 田中 正弘

【第二部】司会：藤崎 浩幸

14：30～15：00 特別講演「アカデミック・ポートフォリオの基本理念」
帝京大学教授 土持ゲリー法一
15：00～15：30 特別講演「新任教員研修でのティーチング・ポートフォリオの活用」
立命館大学講師 林 泰子

【第三部】司会：鬼島 宏、藤崎 浩幸

15：30～17：30 総括討論
17：30～17：40 閉会の挨拶 弘前大学理事（教育担当）中根 明夫

18：00～19：30 【懇親会】（スクーラム 弘前大学内）

7. 対象者：本学教職員及び学生、国立大学（全国）、公私立大学（北海道・東北地区）

8. 参加申込：

参加を希望される場合は、氏名・所属・連絡先電話番号・メールアドレスを記載し、下記問い合わせ先へ10月19日（金）までに、E-mail等で申込みください。

事前に申込みいただかずに当日直接会場に来ていただいても構いませんが、資料準備等の関係か

ら、できるだけ事前申込みくださるようお願いいたします。

なお、参加費は無料です（18：00～19：30の懇親会に出席の場合は会費が必要です。参加希望のご連絡の際には、懇親会への出欠についても併せてお知らせ願います）。

問い合わせ先：弘前大学学務部教務課（教務企画担当）

電 話：0172-39-3108

F A X：0172-39-3961

E-mail：jm3108@cc.hirosaki-u.ac.jp

学 内 掲 示 板

男女共同参画推進室からのお知らせ

一度の人生120%楽しもう！！

～仕事もプライベートも大満足！のデキル大人になる～

弘前大学男女共同参画推進室は下記の要領でワークライフバランスに関するトークイベントを開催いたします。今回はNPO法人Fathering Japan（ファザーリング・ジャパン）副理事、タイガーマスク基金代表理事の安藤哲也氏をお招きし、仕事もプライベートも充実した「ハッピーな生き方」について考えます。就職・結婚など大きなライフイベントを控えた学生の方々、働き盛りの教職員の方々、若手にアドバイスをする機会も多くなるベテランの方々などあなたにも興味を持っていただける内容です。本イベントは前半の「安藤氏によるトーク」と後半の「質問コーナー・フリートーク」の二部構成です。生協食堂のオープンな一角で行われますので、途中参加・途中退出も可能です。それぞれのスケジュールに合わせて、気軽にお立ち寄りください。

1. 日 時：2012年10月24日（水）

14：20 ～ 15：50

（安藤さんへの質問コーナー、フリートークタイムあり）

2. 場 所：弘前大学生協 文京食堂1階

3. 講 師：安藤哲也氏（NPO 法人Fathering Japan副理事，タイガーマスク基金代表理事）

4. 対 象：イベント内容に関心のある全ての方

5. 参加費：無料

6. 主 催：弘前大学男女共同参画推進室

7. 後 援：弘前大学生生活協同組合学生委員会、学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム

※ Fathering Japan：父親支援事業による「Fathering=父親であることを楽しむこと」の理解・浸透が、働き方の見直し・企業の意識改革・次世代の育成などに繋がり、日本社会が大きく変革することを目指して事業を展開する、ソーシャル・ビジネス・プロジェクトです。

※タイガーマスク基金：児童養護施設で暮らす子供たちの多くは高校卒業と同時に自立を迫られますが、親の支援などは期待できません。タイガーマスク基金は、施設などで生活する子供たちの成長と、退所後の彼らをサポートする事業を行なう人や団体を支援するNPOです。

問い合わせ先：弘前大学男女共同参画推進室



電 話：0 1 7 2 - 3 9 - 3 8 8 8

E-mail：equality@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学出版会から新刊のご案内

地域の環境と生活の実験・演習（第4版 第1刷）弘前大学教育学部編（A4判、65頁、定価1,200円：税込）を出版しました。

本書は、自然や環境、暮らしや生活に関する基礎的・基本的実験や演習を行なうことを通して、地域に関心を抱き、自らの科学的観察力と理解力・分析力を育てるための素養を形成することを目的として執筆された。そのため実験内容も、果物などの食品や木材を素材にしたり、水や大気をはじめ身近な生物、地層を題材にしたり、電気やエネルギー、界面活性剤など暮らしや生活に密着したテーマにしている。今回は新たに光を理解するための実験を加えた。また本書は、弘前大学教育学部地域生活専攻の必修科目「地域自然環境基礎実験」に用いるテキストである。地域の環境や生活を考える上で、有益な実験書であり、是非一読していただきたい。



理工学部 地球環境学科・電子情報工学科・知能機械工学科 編「基礎物理学実験の手引き」第7版 第1刷（A4版、100頁、定価945円：税込）を出版しました。

本書は、弘前大学理工学部地球環境学科・電子情報工学科・知能機械工学科の各学科で開講されている基礎物理学実験の実験指導書である。自然科学や科学技術が高度に発達した現代社会において、科学技術者に求められる知識と能力はますます多様化しているなかで、科学技術者を目指す学生に求められるのは確かな基礎学力の習得である。物理学は自然科学の中でもっとも基礎的な学問であり、大学で理工学を学ぶ学生は物理学を十分理解しておくことが重要である。本書は、力学、熱学、電磁気学に関する物理学実験の基礎を、実習を通して学習するための資料を提供する。



ご興味をお持ちの方は大学生協でお買い求めください。

研究紀要“SHIRAKAMI-SANCHI”への掲載論文の募集（再掲）

弘前大学白神自然環境研究所では、白神山地に関する学術的研究を推進するため、研究紀要“SHIRAKAMI-SANCHI”（英文）を刊行しています。白神山地とそれに関連する研究論文等を下記要領で学内より募集いたします。

1. 内容：白神山地とそれに関連する全ての分野の研究論文、報告、総説など。
2. 使用言語：英 語
3. 締め切り：2012年10月31日（水）
4. 投稿規定は白神自然環境研究所のホームページ（<http://www.hirosaki-u.ac.jp/shirakami/>）で見ることができます。

問い合わせ先: 弘前大学白神自然環境研究所 中村 剛之
電話・FAX: 0172-39-3707
E-mail: dhalma@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学出版会から出版のための企画募集

弘前大学出版会から著書の出版を希望される方は弘前大学出版会にご相談ください。出版企画提案書の書式を添付ファイルでお送りいたしますので、ご記入の上、ご返送ください。詳細についてはご連絡いただいた折に、ご説明いたします。

問い合わせ先: 弘前大学出版会（附属図書館内）
電話：0172-39-3168
FAX：0172-39-3171
E-mail: hupress@cc.hirosaki-u.ac.jp

国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「JANU」「JANU別冊」を作成しています。下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第25号・第23号・第22号において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から) 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。
©担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ
E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp Fax:39-3498、内線：3012